

第二の故郷と 大阪を結ぶ

吾平地区
あおき けいすけ
青木 敬介 隊員
(前住所:大阪府大阪市)



今年1月、地域おこし協力隊のHPを見ると、母の故郷である鹿屋市が初めて地域おこし協力隊を募集している記事がありました。迷わずに応募し、7月からの着任となりました。

私にとって鹿屋市は幼い頃から何度も訪れており、第二の故郷です。大学卒業後は主に飲食関係の仕事をしていました。これまでの経験と人脈を生かして、大阪と鹿屋市を結ぶ、地産都消、人材交流ビジネスを確立して、鹿屋市のお役に立てたらと考えています。

まだ着任して3か月、とにかく今は吾平での人との繋がりを一番大切に、地元を知る勉強の日々です。現在は吾平のゆるきやらである「うがやくん」の活用、神野地区への観光客の誘致、吾平商店街の活性化などに取り組んでいます。全国の地域おこし協力隊の8割が20～30代という中、今年52歳の私を採用してくださった鹿屋市に感謝すると共に、他の3名の若いメンバーの良き兄貴分、そして即戦力のオールドルーキーとして一生懸命、地域おこし協力隊の活動を行っていく所存です。どうかよろしくをお願いします。



うがやくんLINEスタンプの販売を計画しています。来年春には販売開始予定です。



販路開拓のため、9月末に大阪へ出張し、飲食業界経営者及び消費者からの情報収集を行いました。

地域にお金を落とす は組みをつくる

吾平地区
にいみ さとし
新美 了 隊員
(前住所:東京都世田谷区)



私たちの最大ミッションは地域の活性化です。それには様々な手段があると思いますが、私は“地域の農林水産物を販売し地域にお金を落とすこと”を第一に考えています。

鹿屋の方々はやさしい。でもその好意に甘えての取り組みは長続きしません。関係するすべての方々に適正な利益が出てこそ、長続きする取り組みができるのだと思います。

鹿屋を中心とした大隅地域は、日本の食料供給拠点になる可能性を十分に持っていると思います。私は鹿屋を中心とした大隅地域の農林水産物を大手小売りに販売したいと考えています(長期的に大量かつ適正価格で)。品さえ揃えば、売り先はあります。小売りのニーズに対応可能な生産体制を早急に構築し、積極的に営業したいと考えております。農林水産物の販路拡大で課題をお抱えの生産者の皆さん、どうか私にその販路開拓のお手伝いをさせてください。

そのお野菜、そのお肉、そのお魚、私に売らせてください。



規格外品野菜の集荷、出荷を見学、また農作業を手伝っています。

11月30日に実施する吾平元気市において「吾平鍋合戦」を開催すべく計画中です。



できることを 1つでも見つけて

高隈地区
はんじょう たかみつ
繁昌 孝充 隊員
(前住所:神奈川県相模原市)



鹿屋市地域おこし協力隊に就任し半年が経ちました。

もともと鹿屋市に縁があり、自分のルーツである土地で暮らしてみたいと思い地域おこし協力隊として高隈地域へ来ました。

前職で林業や木工家具を製作してきた経験があることから、地域おこし協力隊では大隅の地域木材を活用したものづくりなどを行い、コミュニティの活性化を行えるような活動を考えています。

高隈で半年間生活して少しずつ分かってきたことがあります。日々の新しい出会いで色々な方から、たくさんのことを教えていただき、常に周りの方々に支えられながら生活できているということです。

地域おこし協力隊として、何ができるのか。まだまだ分からない部分もありますが、そのような中でも、自分にできることを1つでも2つでも見つけて誰かのために何かをできないだろうか。そのように思っています。まだたったの半年間ですが、本当に多くの方に支えられ日々を生活しています。



まちづくり鹿屋の「茶いっぺ」プロジェクトに参加。リナシティかのや3階ホワイエの可動式ワゴンを作成しました。



高隈地区の方に山太郎蟹を捕まえるかごの作り方を教えてもらいました。竹編みは初めての体験でとても興味深かったです。

新たまねぎの味が 忘れられなくて

高隈地区
おがた やすひろ
緒方 康浩 隊員
(前住所:千葉県柏市)



みなさん、こんにちは！高隈地区の担当をしています、緒方康浩と申します。

鹿屋に来る直前、僕は東京で、全国から農家さんが集い、生産物を直売する“マルシェ”と言われるイベントの運営スタッフをしていました。僕が働いていた「青山ファーマーズマーケット」というマルシェでは、農家さんのケア・販売促進のサポート・企画から、当日の設営・撤去の体力仕事まで、様々なことを経験しました。ここ鹿屋でも、そのような場作りをしていきたいと考えています。

赴任直後に職場の上司に誘われ、高隈でバーベキューに参加させていただいたときのこと。なりたての新たまねぎを一口食べ、たまねぎってこんなに美味しかったのかと驚いたことを今でも覚えています。

生産者同士が繋がり、お客さん同士が友達になり、生産者とお客さんで互いに学びあえるコミュニティを、マルシェづくりを通じて鹿屋でもつくっていかれたらと思っています。



前職で働いていたマルシェ「青山ファーマーズマーケット」の様子です。



10月4日にはMBCラジオ「GOOD NEIGHBORS RADIO」に出演。マルシェの話をしていただきました。